様式第５号（教育実習実施計画に関する書類）

教　育　実　習　等　実　施　計　画
１　教育実習等の内容及び成績評価等
①　教育実習等の時期 〈教育実習〉４年次５月～７月
②　教育実習等の実習期間・総時間数 〈教育実習〉高等学校２週間（９０時間）
③　実習校の確保の方法 〈教育実習〉 実習生の希望を優先して高等学校に割り振られる。諸般の事情から大学が認めた出身校に加え、協定を結んでいる横浜市教育委員会での割り振り、協定を結んでいる相模原市内の連携高校への受入れなどにより、実習校を確保する。
④　実習内容 〈教育実習〉 ・今日的教育課題、学校運営等の講話受講。 ・教科実習、研究授業の実施。 ・学級運営実習と学級指導。 ・学校行事、部活動への参加。 ・教育実習録の作成。 ・教育実習課題レポートの提出。
⑤　実習生に対する指導の方法 〈教育実習〉 教職課程センター教員と実習生が所属する研究室の学部専門課程教員が分担し、実習校と連絡をとり研究授業など適切な日を選び訪問指導を行う。
⑥　実習の成績評価（評価の基準及び方法） ※　評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。 〈教育実習〉 実習校の評価、出席及び取組状況、教育実習録の完成度及び実習内容、訪問教員の指導内容、教育実習課題レポート等を点数化し、総合的に評価している。
２　事前及び事後の指導の内容等
①　時期及び時間数 〈教育実習〉 【事前指導】３年次３月末（４日間×３コマ）、４月（１日間×２コマ）

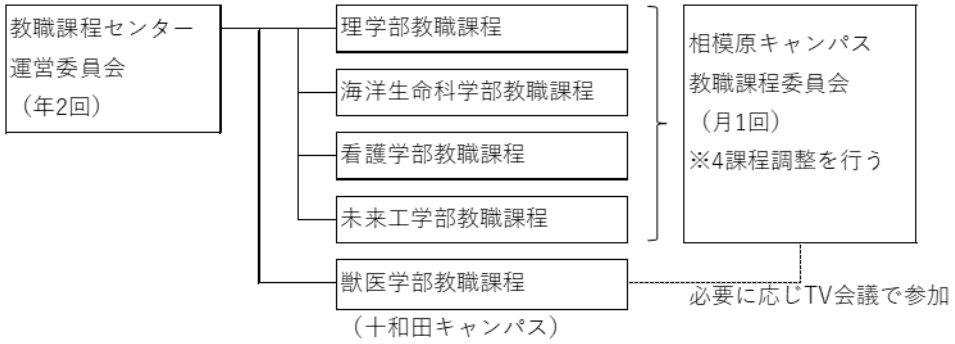
【事後指導】１１月１コマ

②　内容（具体的な指導項目）
〈教育実習〉
【事前指導】
・教育実習実施上の事務手続きの確認。・教育実習内容の確認。・教育実習実施上の留意点。・実習校側の資料に基づく留意事項の確認。・上級生のアンケート等からの留意点の確認。・実習にあたっての心構え等の確認とスピーチの実施。・今日的教育課題を踏まえた学習指導案の書き方の確認。・模擬授業の実施とその検討、評価。
【事後指導】
・各自の教育実習を振り返り、感想、反省、学んだこと等の報告。

３　教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）
①　大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等
・　委員会等の名称
１）教職課程センター運営委員会、２）教職課程委員会

・　委員会等の構成員（役職・人数など）
１）教職課程センター運営委員会は、センター長　１名、副センター長　１名、センター員　若干名、学長が指名する者より構成することを規定している。
（内訳：センター長１名、副センター長１名、教授４名、准教授３名）
※センター員は、相模原キャンパス（理学部、海洋生命科学部、看護学部、未来工学部）及び十和田キャンパス（獣医学部）の教職課程センター教員。
２）教職課程委員会は、センター長を除いた相模原キャンパスの学部に所属している教職課程センター教員（内訳：副センター長１名、教授２名、准教授２名）で構成している。
・　委員会等の運営方法
　運営委員会を置き、教育実習の計画立案、実習生の監督、実習校並びに教育委員会との連絡調整、介護等体験について検討、協議する。

【委員会の組織図】



②　大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等
（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

・　委員会等の名称

教育実習研究協議会

・　委員会等の構成員（役職・人数など）

相模原市中学校校長会（会長・１名、副会長３名）

連携協定高校（校長・４名）

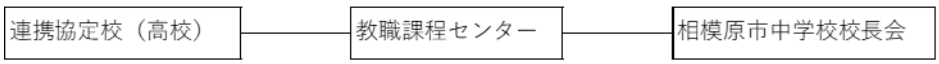
教職課程センター教員（教授・３名、准教授１名、講師１名）

理学部・海洋生命科学部・看護学部・未来工学部（学部長・４名）

・　委員会等の運営方法

本学にて年に一度、教育実習研究協議会を開催する。（この取組みは既に１０年以上前から実施をしており、内容については、大学から、教育実習にあたっての取組みや、各学部の教育内容を報告し、中学・高校からは、各学校の教育実習の状況、最近の学生事情、各学校の取組みをお話し頂き、教育実習について意見交換を行っている。かなり実質的な取組みができている。）

【委員会の組織図】



４　教育実習の受講資格

１．３年次までの教職課程関連科目（教育実習講義、教育実習、教職実践演習は４年次配当なので除く）をすべて修得していること。

２．３年次までの卒業に必要な要件をすべて満たし、卒業が見込まれること。

５　実習校

教育実習	体験活動			
		学級数の合計	高等学校　９９学級	
○	×	学校名	神奈川県立相模原高等学校（神奈川県相模原市中央区横山１－７－２０） 学級数：２１　生徒数：８２８人	
		教員数	５８人　　（内訳）教諭49人、 助教諭0人、 講師7人、 養護教諭2人、 養護助教諭0人、 栄養教諭0人	
○	×	学校名	神奈川県立麻溝台高等学校　（神奈川県相模原市南区北里２－１１－１ ） 学級数：２７　生徒数：１，０７６人	
		教員数	６６人　　（内訳）教諭56人、 助教諭1人、 講師7人、 養護教諭1人、 養護助教諭1人、 栄養教諭0人	
○	×	学校名	神奈川県立神奈川総合産業高等学校　（神奈川県相模原市南区文京１－１１－1） 学級数：２４　生徒数：６９７人	
		教員数	６４人　　（内訳）教諭63人、 助教諭0人、 講師0人、 養護教諭1人、 養護助教諭0人、 栄養教諭0人	
○	×	学校名	神奈川県立相模原弥栄高等学校　（神奈川県相模原市中央区弥栄３－１－８ ） 学級数：２７　生徒数：１，０５６人	
		教員数	１５７人　　（内訳）教諭72人、 助教諭0人、 講師83人、 養護教諭2人、 養護助教諭0人、 栄養教諭0人	
○	×	教育委員会名	横浜市教育委員会	高等学校　９校

教育実習受入承諾書

令和 4 年 1 月 17 日

学校法人北里研究所
理事長　小　林　弘　祐　殿

神奈川県立相模原高等学校
校　長　平　田　智　則

下記免許状取得のため、本校において教育実習を行うことを承諾します。

記

1　教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員
北里大学　未来工学部　データサイエンス学科【入学定員　100 人】

2　免許状の種類
高等学校教諭一種免許状（情報）

3　教育実習の受け入れ時期
2026 年度以降

以上

教育実習受入承諾書

令和 4 年 2 月 28 日

学校法人北里研究所
理事長　小　林　弘　祐　殿

神奈川県立麻溝台高等学校
学校長　石　倉　隆　之

下記免許状取得のため、本校において教育実習を行うことを承諾します。

記

1　教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員
北里大学　未来工学部　データサイエンス学科【入学定員　100 人】

2　免許状の種類
高等学校教諭一種免許状（情報）

3　教育実習の受け入れ時期
2026 年度以降

以上

教育実習受入承諾書

令和 4 年 2 月 26 日

学校法人北里研究所
理事長　小　林　弘　祐　殿

神奈川県立神奈川総合産業高等学校
学校長　伏　見　　勉

下記免許状取得のため、本校において教育実習を行うことを承諾します。

記

1　教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員
北里大学　未来工学部　データサイエンス学科【入学定員　100 人】

2　免許状の種類
高等学校教諭一種免許状（情報）

3　教育実習の受け入れ時期
2026 年度以降

以上

教育実習受入承諾書

令和 4 年 1 月 27 日

学校法人北里研究所
　理事長　小　林　弘　祐　殿

神奈川県立相模原弥栄高等学校
学校長　五十里　雅　子

下記免許状取得のため、本校において教育実習を行うことを承諾します。

記

1　教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員
　北里大学　未来工学部　データサイエンス学科【入学定員　100 人】

2　免許状の種類
　高等学校教諭一種免許状（情報）

3　教育実習の受け入れ時期
　2026 年度以降

以上

教育実習受入承諾書

令和４年１月24日

学校法人北里研究所
　理事長　小　林　弘　祐　殿

横浜市教育委員会
　教育長　鯉　渕　信　也

　下記免許状取得のため、横浜市の市立高等学校９校において教育実習を行うことを承諾します。

記

１　教育実習の受入に係る学部・学科・入学定員
　　北里大学　未来工学部　データサイエンス学科【入学定員　100人】

２　免許状の種類
　　高等学校教諭一種免許状（情報）

３　教育実習の受け入れ時期
　　2026年度以降

以上